



宮司プレス 第百五十七号

彦島八幡宮 宮司 ニューズ
 発行者 彦島八幡宮
 宮司 柴田 宜夫

発行 令和二年 七月 十七日

◇宮司の柴田です。梅雨晴れの夏の光も強き折節（おりふし）です。昨日（七月十六日）

の午後の空は、澄み切った青空で、先月号にも記述（きじゆつ）しましたが、まさに、「雨過天晴雲破処（うかてんせいいくもやぶるところ）」の蒼天（そうてん）でありました。止（や）まない雨はないのでありますから、世相は、「コロナウイルス禍（は）はたまた、令和二年豪雨災害で、漆黒（しっこく）の雲に覆（おお）われているようですが、「きつと必ず、蒼天を見上げることができると」という希望の光を信じて、今ある命に感謝を申し上げながら過日（かじつ）したいものです。

◇さて、私共の祭典奉仕の絶対条件は、清浄（せいじよう）、祓（はらい）いです。神社神道は、何よりも清浄を尊びます。祓（はらい）というのは、「晴（は）る晴れる」という意味があります。前述した、「雨過天晴雲破処」に通じるものがあります。また、「張る」という意味があります。つまりは、常日頃（つねひごろ）は、気持ち明るく爽（さわや）かに、そして、果たすべき役割を担った時には、緊張し自覚し

覚悟をもって事にあたる、これが、「祓」に込められた意味ではないかと思うのです。

◇実は、そのことを、宮司プレス既刊号（きかんごう）にも記述したことがあります。天武天皇様は、「明浄正直（めいじようせいちよく）勤務追進（きんむつしん）」と仰せになり論（さと）されました。明るく澄み切った清らかな心、公明正大な嘘をつかない正しい心、どんなことがあっても「ブレない」強い心、これが、「明浄正直」です。そして、自分のことは自分でやりとげ、世のため人のために尽くす、これが、「勤務」です。さらに、競争に遅れず、人との競いは常に先頭をひたすら走り続ける、これが、「追進」なのです。常日頃の心掛けと社会生活の目標を示されているのです。

◇今月の一日より九日まで、手水舎（てみずしや）に、境内の紫陽花（あじさい）の花やいろいろな花びらを浮かべてみました。「花手水（はなてみず）」です。裏面に写真を掲載しました。コロナ禍の世相でもありますし、想定外の自然災害の猛威が報道される毎日、気持ちだけでも「晴る、晴れる」であってほしいと願

いを込めて「花手水」をこころみました。次回は、七月二十一日（水）より七月二十六日（日）さらに、八月七日（金）より八月十六日（日）を予定しています。中世室町時代に「能」を大衆芸能から「芸術」に高めた、所謂（いわゆる）昇華（しょうか）、させたのが観阿弥世阿弥（かんあみぜあみ）親子であります。その息子さんの世阿弥が著（ちよ）した「風姿花伝書（ふうしかでんしょ）」には、「秘すれば花 秘せずは花なかるべし」と書かれています。美しいものには言葉はいらない、言葉で多くを語り着飾ったところで本物ではない、「秘めた多言（たげん）」と仰（おつしや）いました。詩人の相田みつをさんの詩に、「美しいものを美しいといえるあなたの心が美しい」とあります。神社神道で大切にしているのは、「真善美（しんぜんび）」ですが、なかでも「美」をもっとも尊重（じゆう）しています。今号は、紙面の関係で、「真善美」について詳述（しょうじゆつ）できませんが、あらゆるものに神様が宿（よ）っていらつしやると考え、あらゆるところに神様をお祭りするのは、「美」を尊ぶからにはほかなりません。

◇坂村真（さかむら しんみん）さんの詩に、「鳥は飛ばねばならない 人は生きねばならない」とあります。今の世相でも、「晴れる、張る」、「明浄正直 勤務追進」を生活の目当てにして、御多幸な暮らしてありますように。

◇六月の祭典行事会議報告

▼月次祭

*六月一日、十五日

▼貴布禰神社月次祭

*六月一日

▼貴布禰稻荷神社例祭

*六月六日

▼海士郷恵比須神社例祭

*六月十日

▼柴田家本城家結婚式

*六月二十一日

▼大祓式 *六月三十日

▼神社庁関係

◆山口県神社庁役員会、山口県神社庁教化委員会、山口県神社庁協議員会

*六月四日

▼下関西ロータリークラブ

◆例会 *六月三日、十七日、二十四日

◆クラブ協議会 *六月三日、十二日

◆下関市内5ロータリークラブ会長幹事会

*六月十七日

▼しものせき木鶏クラブ

*六月一日

※しものせき木鶏クラブは、月刊「致知」

の愛読者の集まりで、二ヶ月に一回、

それぞれの読後の感想を発表するサ

ークル

ークル

◇七月の祭典行事会議報告並びに予定事項

▼手水舎を花手水にしました！

*七月一日〜七月九日まで



▼限定御朱印頒布中

*御初穂料 上…五百円 下八百円



▼月次祭 *七月一日、十五日

▼貴布禰神社月次祭 *七月一日

▼六連島八幡宮七社祭 *七月九日

※六連島の島内にある、大蔵神社、恵比須

神社二社、貴布禰神社、宗像神社、峯像

神社、西海大明神の世話人が、新しい注

連縄と、それぞれの家で伝承されたお

供え物を持参。お社を遙拝(ようはい)

するかたちで祭典を斎行。終了後、授

けられた神様のお召し物(オキヌとい

う)と御幣、注連縄を捧げ持ち、それぞ

れのお社に飾り付けを行ひ参拝をする

神事。

▼田の首八幡宮夏越祭 *七月十九日

▼六連島八幡宮夏越祭 *七月二十五日

※祭典後、島内の三十二軒の家を一軒一軒

お祓いしてまわる、戸別祓いを実施

▼彦島八幡宮夏越祭 *七月二十九日

▼海士郷恵美須神社夏越祭 *七月三十一日

▼神社庁関係

◆山口県神社総代会役員会、山口県

神社庁役員会 *七月十三日

◆山口県神社庁支部長事務局長会議

*七月十四日

▼美祢社会復帰促進センター教誨活動

◆入所時指導 *七月十五日

◆集合教誨女子 *七月二十七日

▼その他

◆下関市中央倫理法人会モーニグセミナー

*七月二日

※午前六時より当宮にて開催

◆下関トイレ掃除の会清掃奉仕作業

*七月十九日早朝

◆迫町自治会役員会 *七月二十二日